



令和4・5年度 港区教育委員会研究奨励園

麻布幼稚園だより

令和4年7月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

梅雨らしさをあまり感じられないまま、異例の早さで梅雨が明けました。夏季休業を前に猛暑の日が続いています。高すぎる気温から活動に制限が必要なことが出てきています。しかし、体の発達につながる動きや遊びの経験、汗をかくことによる汗腺の発達など、幼児期に必要な経験を制限することはできません。暑さ指数を見ながら木陰で遊ぶ、運動的な遊びは小学校の体育館をお借りして空調を使用しながら行う、必要に応じてマスクの着脱やこまめな水分補給を行うなどし、7月も健康で安全な生活を送りたいと思います。



「早寝 早起き 朝ごはん 朝ウンチ」は、幼児期から身に付けさせたい習慣の一つとしてお伝えをしているところです。これらはそれぞれが関連しながら、よい循環になるものです。早寝をさせたいと思ったら、早起きをさせて日中に体をよく動かすことです。ですが、近年では大人の生活リズムからの影響、ゲームやSNSの普及などから、幼児期より望ましい習慣を身に付けさせ、健全な成長につなげる意識を私達大人が一段と高くもつ必要があります。

小学校以降では、1人1台のタブレットの使用が始まっています。学年の実態に合わせて学習に有効な活用の仕方がされているところです。視力の低下を心配する声や使用に制限をかける工夫などが聞かれますが、今後はスクリーンタイムを自制できる力を育てることが必要になると考えます。体を動かす機会が減少している現代では、日常の遊びや生活の中で歩く機会を増やす、体を使う遊びを取り入れるなどする必要があります。とはいえ、猛暑の中では工夫が必要です。夏休み中の生活を視野に入れ、地域のラジオ体操に親子で参加する、朝の散歩を楽しむなど、親子の時間を楽しみながら進められるとよいのではないのでしょうか。ゲームやSNSにとらわれることなく、必要に応じて使いこなせる力を身に付けていくことは、小学校以降の生活や学習にもつながる大事な力です。何より体を動かして遊ぶ楽しさ、自然に触れる経験を基に、睡眠、食事、運動などの望ましい生活習慣を連鎖させ、丈夫な体、精神的な安定、生活に意欲がある、といった心や体の病を寄せ付けない生涯にわたる健康な体への習慣を身に付けさせていきましょう。夏季休業前に、「早寝 早起き 朝ごはん」についての資料を配布しますので、参考にしていただければと思います。

年長児は、昨年度から育ててきたジャガイモを収穫しました。蒸かしてもらいとても美味しくいただきました。「たくさん採れたから」と、年少、年中組にもおすそ分けをしてあげる姿が微笑ましかったです。学年に合わせ、インゲン、トマト、ナス、キュウリといった野菜を育てています。自分たちで育てた野菜を収穫する喜び、お家の方やみんなと一しょにいただく楽しさや美味しさを十分に味わえるようにし、食べ物への興味・関心や感謝の気持ちをもてるようにしたいと思います。

毎日の水筒や着替えの準備など、ありがとうございます。暑さに気を付けながら、この時期ならではの遊びや生活を充実させていきます。